

平成27年度消費者教育実践フォーラム  
高等学校による実践報告



自立と共生を目指して  
主体的に行動する消費者の育成  
～消費生活と他分野・他教科・他機関との関連～

関市立関商工高等学校  
佐伯真理英

小学校 家庭科

中学校 技術・家庭科 家庭分野

高等学校 家庭科共通科目

家庭基礎  
2単位

家庭総合  
4単位

生活デザイン  
4単位

生徒の多様な能力・適性, 興味・関心等に応じて  
必履修科目として1科目を選択的に履修

家庭科の教科理念 **自立** **共生**  
自立を図り、他者や社会、自然と共に生きる、  
共によりよい生活をめざしていく

## 小学校

A 家庭生活と家族

B 日常の食事  
と調理の基礎

C 快適な衣服と  
住まい

D 身近な消費生活と環境

他の3つの内容との関連を図り実践的に学べるよう配慮

## 中学校

A 家族・家庭と  
子どもの成長

B 食生活と自立

C 衣生活・住生活  
と自立

D 身近な消費生活と環境

他の3つの内容との関連を図り総合的に学べるよう配慮

## 高等学校

### 「家庭基礎」

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉
- (2) 生活の自立及び消費と環境
- (3) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

### 「家庭総合」

- (1) 人の一生と家族・家庭
- (2) 子どもや高齢者とのかかわりと福祉
- (3) 「生活における経済の計画と消費
- (4) 生活の科学と環境
- (5) 生涯の生活設計
- (6) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

## ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

「生きる力」を育む  
実践的・体験的な学習活動

自ら考え、行動し、解決を図る  
(問題解決学習)

### ホームプロジェクト

家族・家庭のために

一人ひとりが  
自分の家庭生活  
の充実向上を目指す  
実践活動

### 学校家庭クラブ

学校・地域のために

グループや学校単位で  
学校や地域の生活  
の充実向上を目指す  
実践活動

本校の取り組み

関市立関商工高等学校

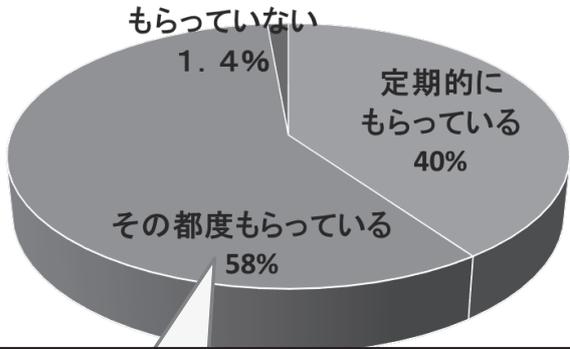
校訓 「至誠明朗」

知・徳・体の調和のとれた  
創造的・人間性豊かな  
実践力のあるスペシャリストの育成

# 生徒の実態調査

## 消費行動に関するアンケート調査

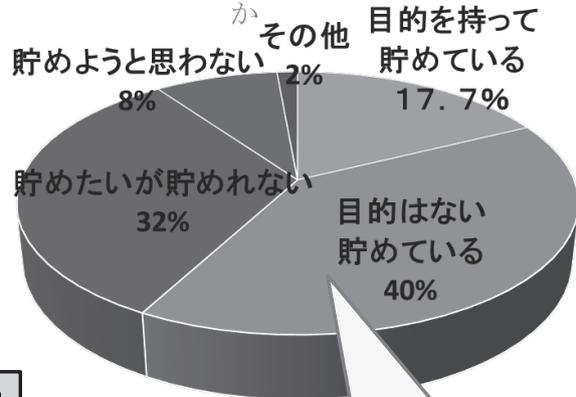
現在おこづかいをもらっているか



1ヶ月にもらっている金額(平均) 4,043円

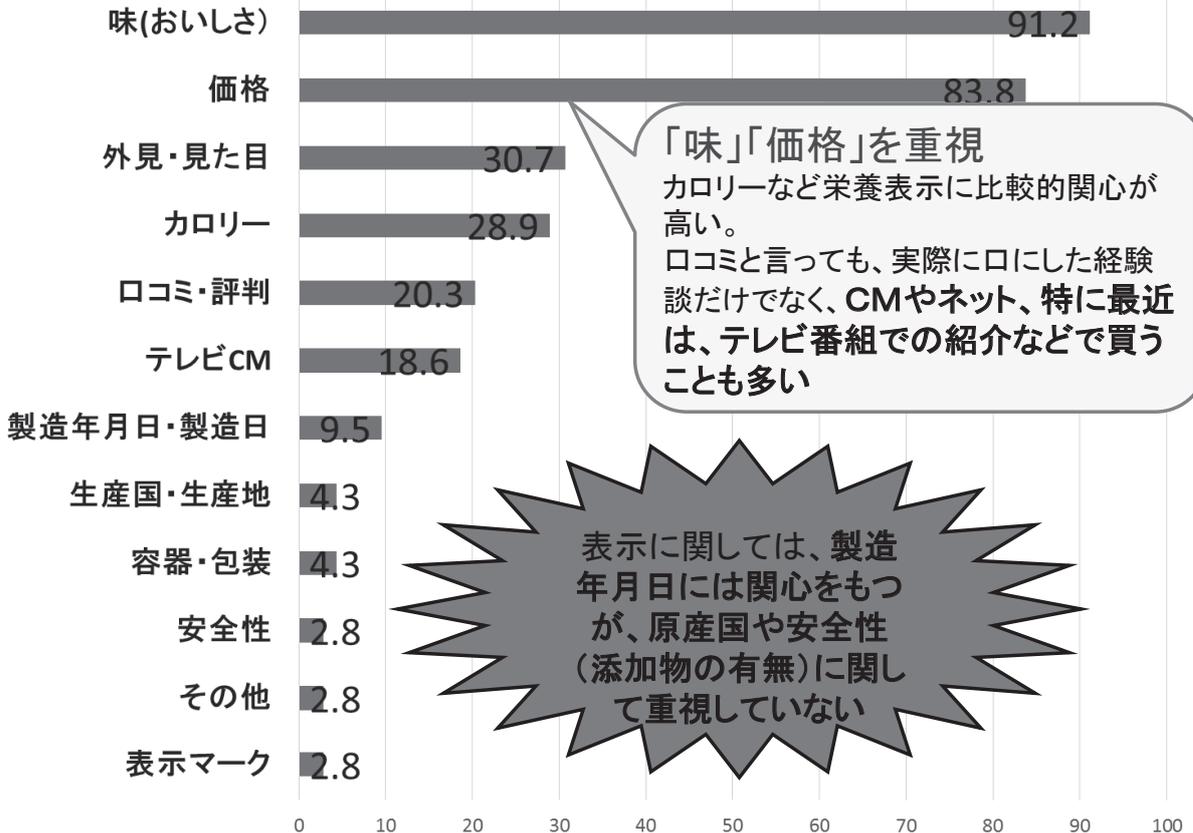
おこづかいを月決めでもらい、その範囲で1ヶ月の収支を管理する経験をしている者は多くない

現在目的をもってお金を貯めているか



目的をもって計画的に貯める意識はまだ少ない。

飲食物を買う際、重視すること (○3つまで) (%)



「味」「価格」を重視  
 カロリーなど栄養表示に比較的関心が高い。  
 口コミと言っても、実際に口にした経験談だけでなく、CMやネット、特に最近では、テレビ番組での紹介などで買うことも多い

表示に関しては、製造年月日には関心をもつが、原産国や安全性(添加物の有無)に関して重視していない

インターネットで商品やサービスを買ったことはあるか

(%)

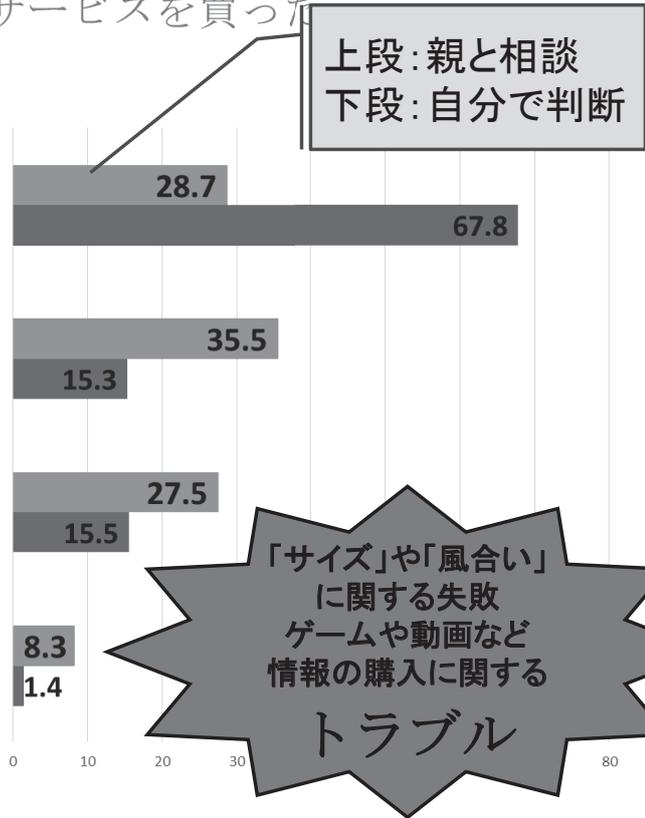
買ったことがない

買ったことはあるが、回数は少ない

時々買う

よく買う

日常的に保護者も利用することが増え「特別な購入方法」ではなくなってきている。



## 支払い方法

(%)

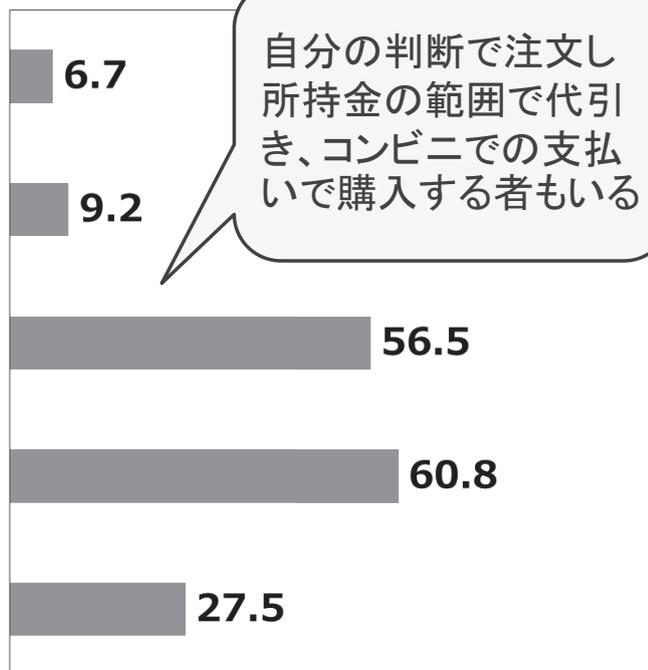
その他

ATMで振り込み

コンビニで代金払い

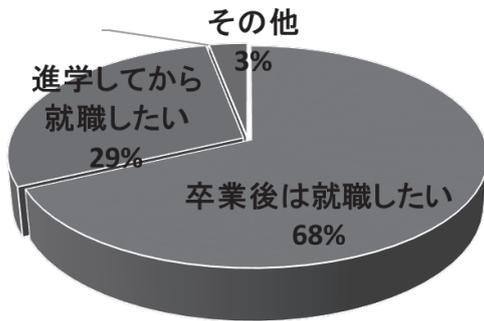
代引き

保護者のクレジットカード

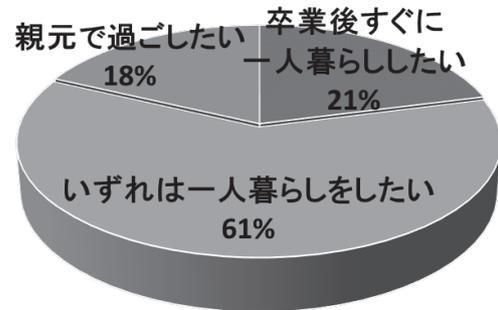


## 生活設計に関するアンケート調査

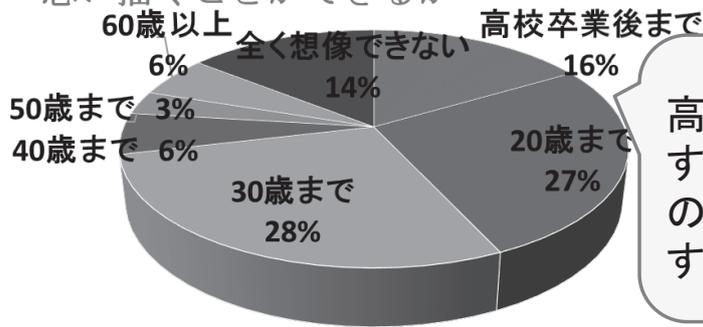
卒業後の進路希望



卒業後どのような暮らし方をしたいか



どのくらい先の人生まで  
思い描くことができるか

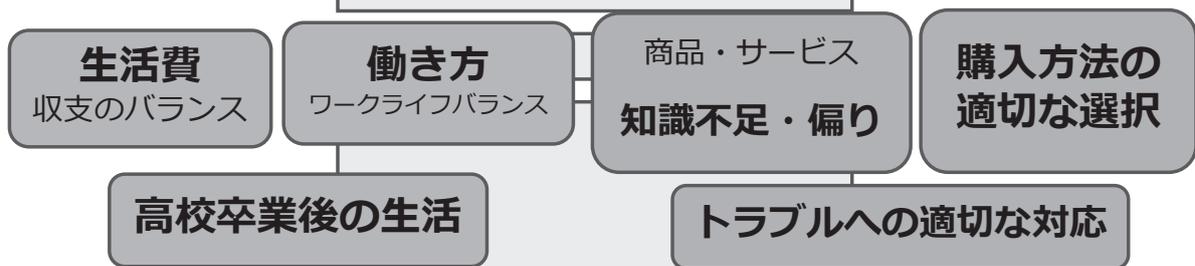


高校卒業後は就職を希望する者が多いが、それ以後の生活を現実的にイメージすることが難しい

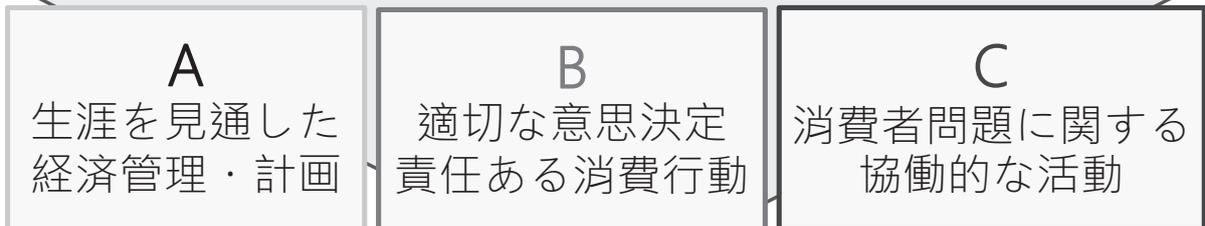
## 生徒の実態

生活設計

消費行動



## 望む生徒の姿



# 研究の方法

## 授業

2つの単元を  
関連づけた指導計画  
「人の一生と家族」  
「消費生活と資源・環境」

「消費者教育の  
体系イメージマップ」  
(平成25年 消費庁公表)

### ホームプロジェクト

実践的・体験的な  
学習方法や教材の工夫  
問題解決能力、意思決定力

### 学校

### 家庭クラブ活動

消費者教育推進事業の指針  
他機関との協働学習

**自立と共生を目指して、主体的に行動する消費者**

## 消費者教育の体系イメージマップとの関連

重点領域	学童期				青少年期		成人期	
	幼児期	小学生期	中学生期	高校生期	特になし	成人一般	特に高齢者	
各期の特徴	様々な生活の場面で、社会や環境との関わりを学ぶ時期	社会や環境との関わりを学ぶ時期	行動の範囲が広がり、権利と責任を認識し、トラブル解決方法の習得が求められる時期	生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を認識し、主体的な判断が求められる時期	生活において自立を進め、消費生活のスタイルや価値観を確立し自らの行動を始める時期	精神的、経済的に自立し、消費者市民社会の構築に、様々な人々と協働し取り組む時期	周囲の支援を受けつつも人生での豊富な経験や知識を消費者市民社会構築に活かす時期	
消費者市民社会の構築	<b>4</b> 消費者として自立する <b>テーマ1</b> かしこく選択、購入そして消費するために必要なことについて考えよう <b>ファストファッションの裏側を知ろう</b>				<b>5</b> <b>家庭クラブ活動</b> 関市消費生活相談室・関市社会福祉協議会との協働学習 高齢者のかたを消費者トラブルから守るために私たちができること(仮題)			
消費の実践	身の周りの生活を振り返り、消費の仕方を見直し、環境に配慮した生活を実践しよう	身の周りの生活を振り返り、消費の仕方を見直し、環境に配慮した生活を実践しよう	身の周りの生活を振り返り、消費の仕方を見直し、環境に配慮した生活を実践しよう	身の周りの生活を振り返り、消費の仕方を見直し、環境に配慮した生活を実践しよう	身の周りの生活を振り返り、消費の仕方を見直し、環境に配慮した生活を実践しよう	身の周りの生活を振り返り、消費の仕方を見直し、環境に配慮した生活を実践しよう	身の周りの生活を振り返り、消費の仕方を見直し、環境に配慮した生活を実践しよう	
消費者の参画・協働	協力することの大切さを知ろう	身近な消費者問題に目を向けよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成について考えよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働し、取り組むことの重要性を理解しよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働し、取り組むことの重要性を理解しよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働し、取り組むことの重要性を理解しよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働し、取り組むことの重要性を理解しよう	
商品等の安全	くらしの中の危険や、ものの安全な使い方を気づこう	危険を回避し、物を安全に使う手がかりを知ろう	危険を回避し、物を安全に使う手帳を知り、使おう	安全で危険の少ない暮らしと消費生活を目標とする大切さを知ろう	安全で危険の少ない暮らしと消費生活を目標とする大切さを知ろう	安全で危険の少ない暮らしと消費生活を目標とする大切さを知ろう	安全で危険の少ない暮らしと消費生活を目標とする大切さを知ろう	
生活の管理と契約	選択し、契約することへの理解と考える態度	消費者として自立する <b>テーマ1</b> かしこく選択、購入そして消費するために必要なことについて考えよう <b>主体的な消費行動とは「意思決定のプロセス」</b>	適切な意思決定に基づいて行動しよう 契約とそのルールの活用について理解しよう	適切な意思決定に基づいて行動しよう 契約とそのルールの活用について理解しよう	適切な意思決定に基づいて行動しよう 契約とそのルールの活用について理解しよう	適切な意思決定に基づいて行動しよう 契約とそのルールの活用について理解しよう	適切な意思決定に基づいて行動しよう 契約とそのルールの活用について理解しよう	
情報とメディア	情報の収集・処理・発信能力	身の回りのさまざまな情報に気づこう	消費に関する情報の集め方や活用の方を知ろう	消費生活に関する情報の収集と発信の技術を身に付けよう	消費生活に関する情報の収集と発信の技術を身に付けよう	消費生活に関する情報の収集と発信の技術を身に付けよう	消費生活に関する情報の収集と発信の技術を身に付けよう	
	情報社会のルールや情報モラルの理解	自分や家族を大切にしよう	自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを知ろう	著作権や発信した情報への責任を知ろう	望ましい情報社会のあり方や、情報モラル、セキュリティについて考えよう	望ましい情報社会のあり方や、情報モラル、セキュリティについて考えよう	望ましい情報社会のあり方や、情報モラル、セキュリティについて考えよう	
	消費生活情報に対する批判的思考力	身の回りの情報から「なぜ!」とどうして?を考えよう	消費生活情報の目的や特徴、選択の大切さを知ろう	消費生活情報の評価、選択の方法について学び、社会との関連を理解しよう	消費生活情報の評価、選択の方法について学び、社会との関連を理解しよう	消費生活情報の評価、選択の方法について学び、社会との関連を理解しよう	消費生活情報の評価、選択の方法について学び、社会との関連を理解しよう	
					<b>1</b> <b>ホームプロジェクト</b> 私や家族が使う商品やサービスについて調べよう	<b>2</b> <b>人の一生と家族</b> 働くことと職業に就くこと(就職)について考えよう 働くことの意義を考えよう	<b>3</b> <b>人の一生と家族</b> 給与の仕組みと、差し引かれている税金・社会保険料について知ろう	

※本イメージマップで示す内容は、学校、家庭、地域における学習内容について体系的に組み立て、理解を深めやすいように整理したものであり、学習指導要領との対応関係を示すものではありません。

## ホームプロジェクト

**1** 私や家族が使う商品やサービスについて調べよう

B

適切な意思決定  
責任ある消費行動

商品・サービスの内容をくわしく調査する

**体験**

「消費者(利用者)」から「作り手」に伝える

事前指導



①調べる商品・サービスの設定 ②実践の手引き・ワークシート配布

実践(調査)



店頭での調査

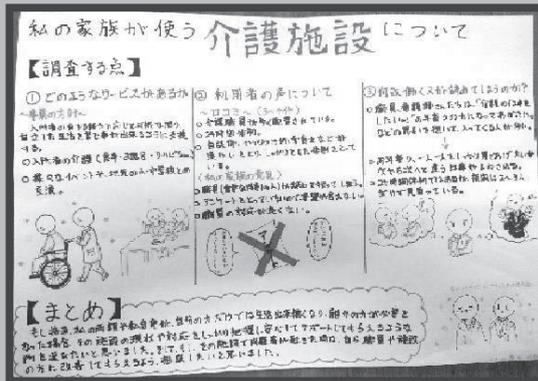
商品の表示  
パンフレット

企業の  
ホームページ

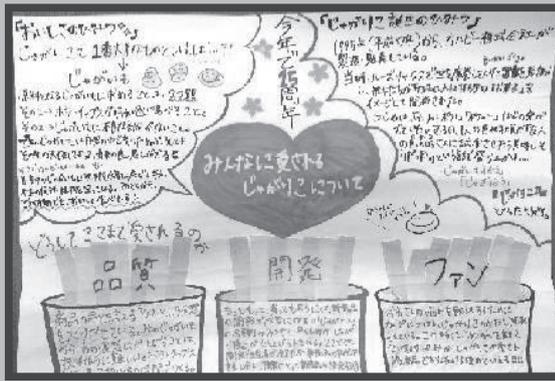
問い合わせ  
メール

レポート → 発表用パネル作成

発表・交流



祖母の利用する介護施設



よく購入するスナック菓子



発表用パネル  
生徒作品例

テニス部の必需品 テニスのガット

## 生徒の感想 今後の消費生活に生かしたいこと

### <コーヒーチェーン店>

カスタマイズする楽しさや、新製品を色々出すことで利益を上げているだけでなく生産地の支援、フェアトレードの日など、持続可能な商品提供にも取り組んでいることを知った。今まで意識したことがなかったけどフェアト商品のマークがあることを知って、買うときに気にしようになった。

### <カジュアルウエア販売店>

シンプルなデザイン、豊富な色揃え、価格の安さが好きでよく買っているが、UV加工など機能性にも工夫があると知った。これからはそういう点も選ぶときの目にしたい。